2025年度 全国学生調査

学科別集計結果・分析まとめ

理学療法学科・作業療法学科｜外部公表用

学生の学修行動、学修成果、大学での学びに関する調査結果を、個人が特定されない表現に整理しています。

調査の概要

学科別・学年別の回答状況

学科	2年生	4年生	全体	回答率
理学療法学科	63/66	57/63	120/129	93.0%
作業療法学科	14/17	21/23	35/40	87.5%

結果の見方

・問1・問3・問4は、「ある程度あった／身に付いた／そう思う」等の肯定的回答の合計を中心に示しています。
・問2は、経験した学生の割合と、有用だったと回答した割合を示しています。
・問5は、各生活時間項目で最も回答が多かった時間帯を示しています。

公表時の表現方針

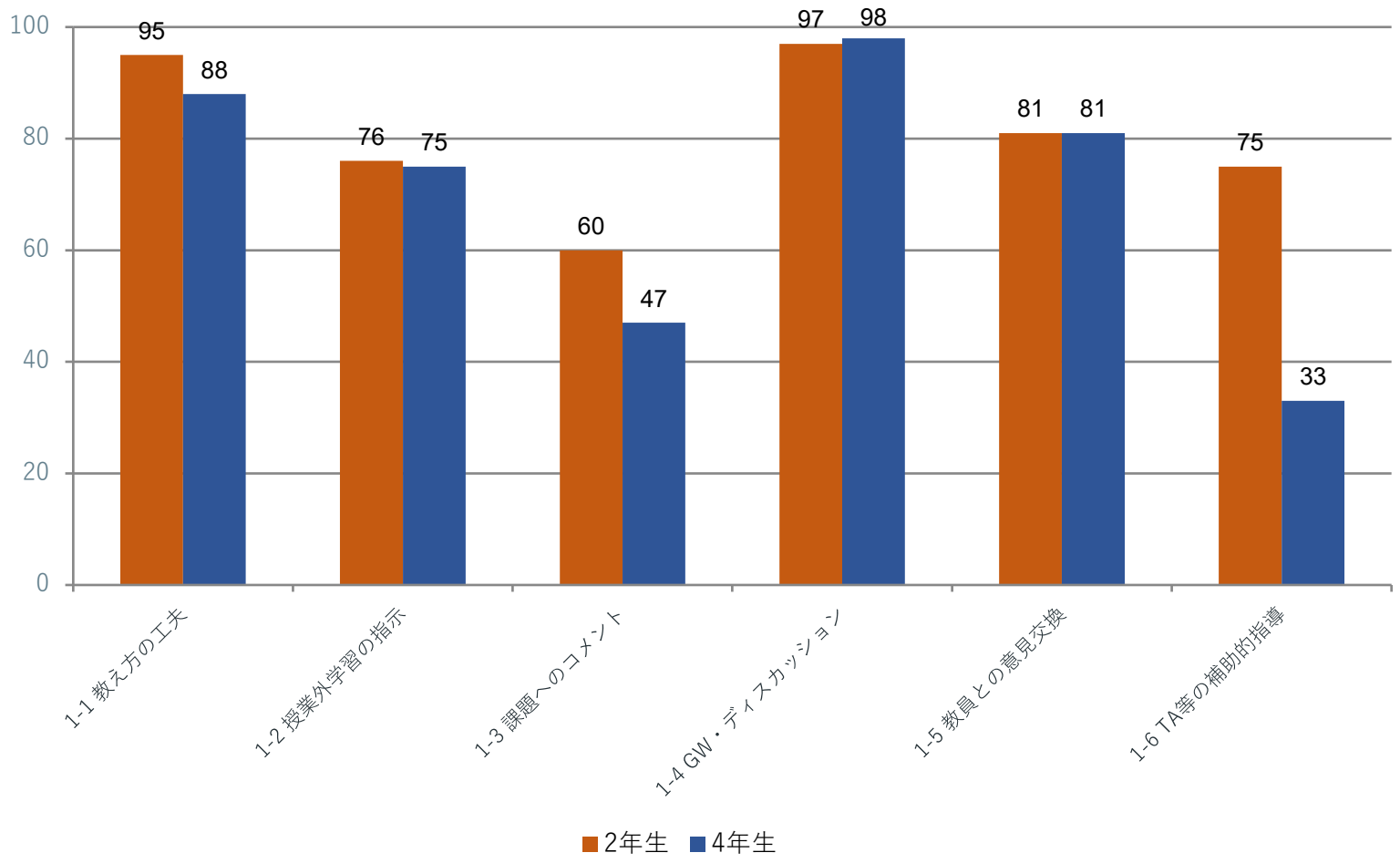
個人名・担当者名・個別の自由記述は掲載せず、学科全体の傾向として表現しています。課題についても、改善に向けた取組とあわせて記載しています。

理学療法学科

各設問項目の結果を、学年別に整理して示します。

理学療法学科｜問1 授業に関する経験

肯定的回答（ある程度あった＋よくあった）の割合

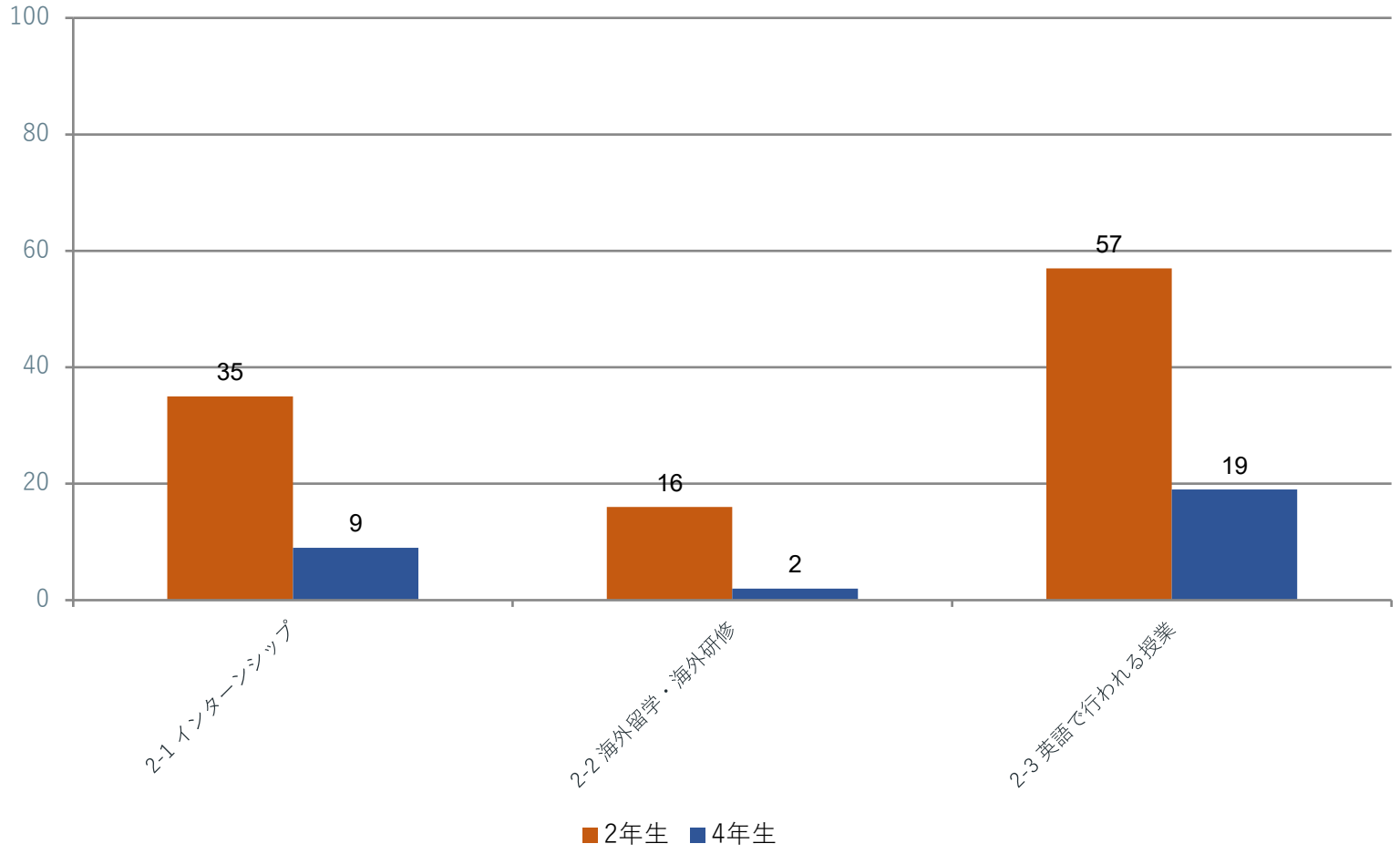


授業のわかりやすさ、対話的学習、教員との意見交換は両学年で高い評価でした。

一方で、課題へのコメント返却と補助的指導は、学年により評価に差がみられました。

理学療法学科｜問2 大学在学中の経験

経験した割合（経験していない以外）

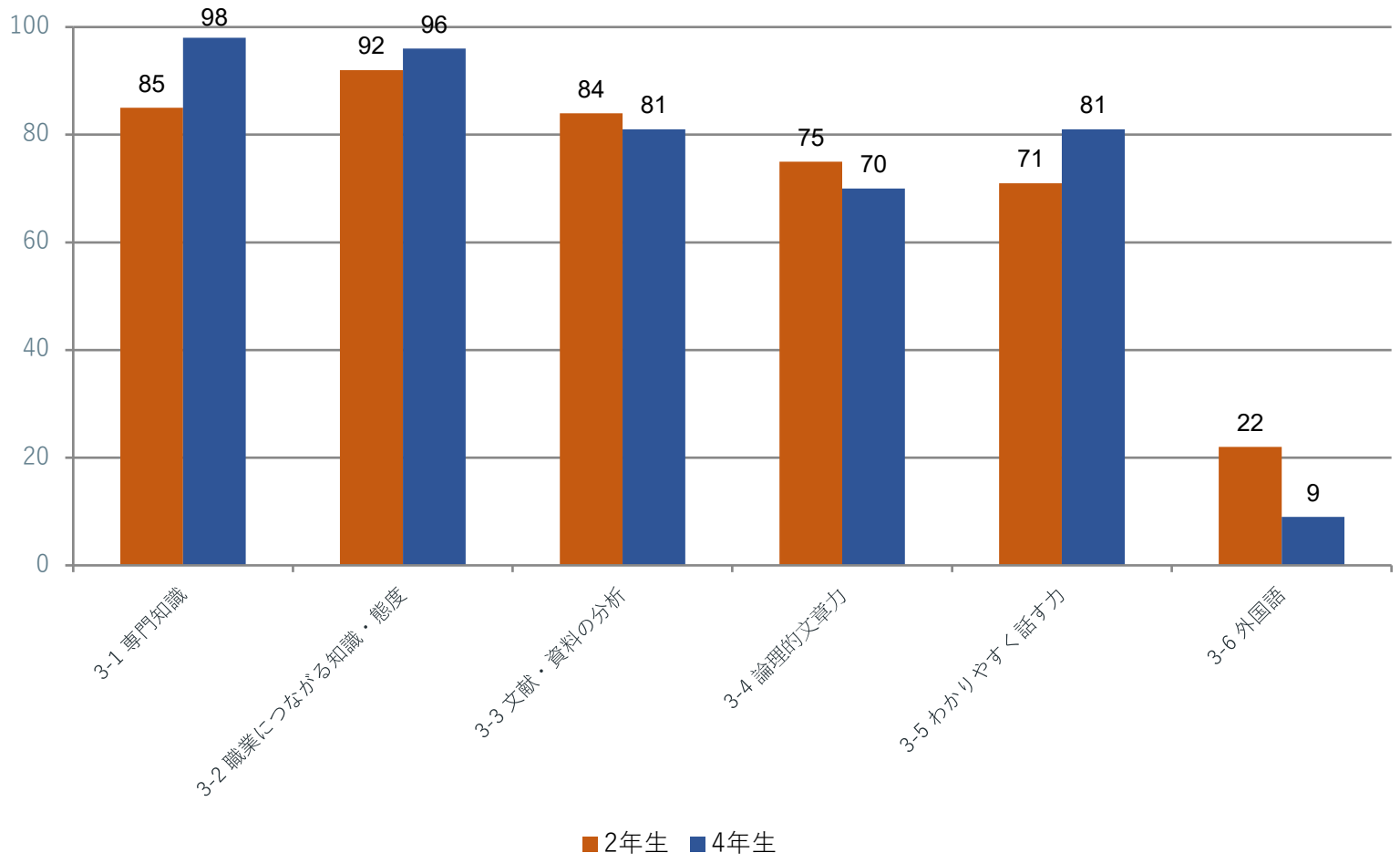


経験型・国際型の学習機会は、項目によって参加状況に差があります。

外部公表では、今後の教育改善に向けた検討課題として整理しています。

理学療法学科｜問3 知識・能力の習得（1）

肯定的回答（ある程度身に付いた＋身に付いた）の割合

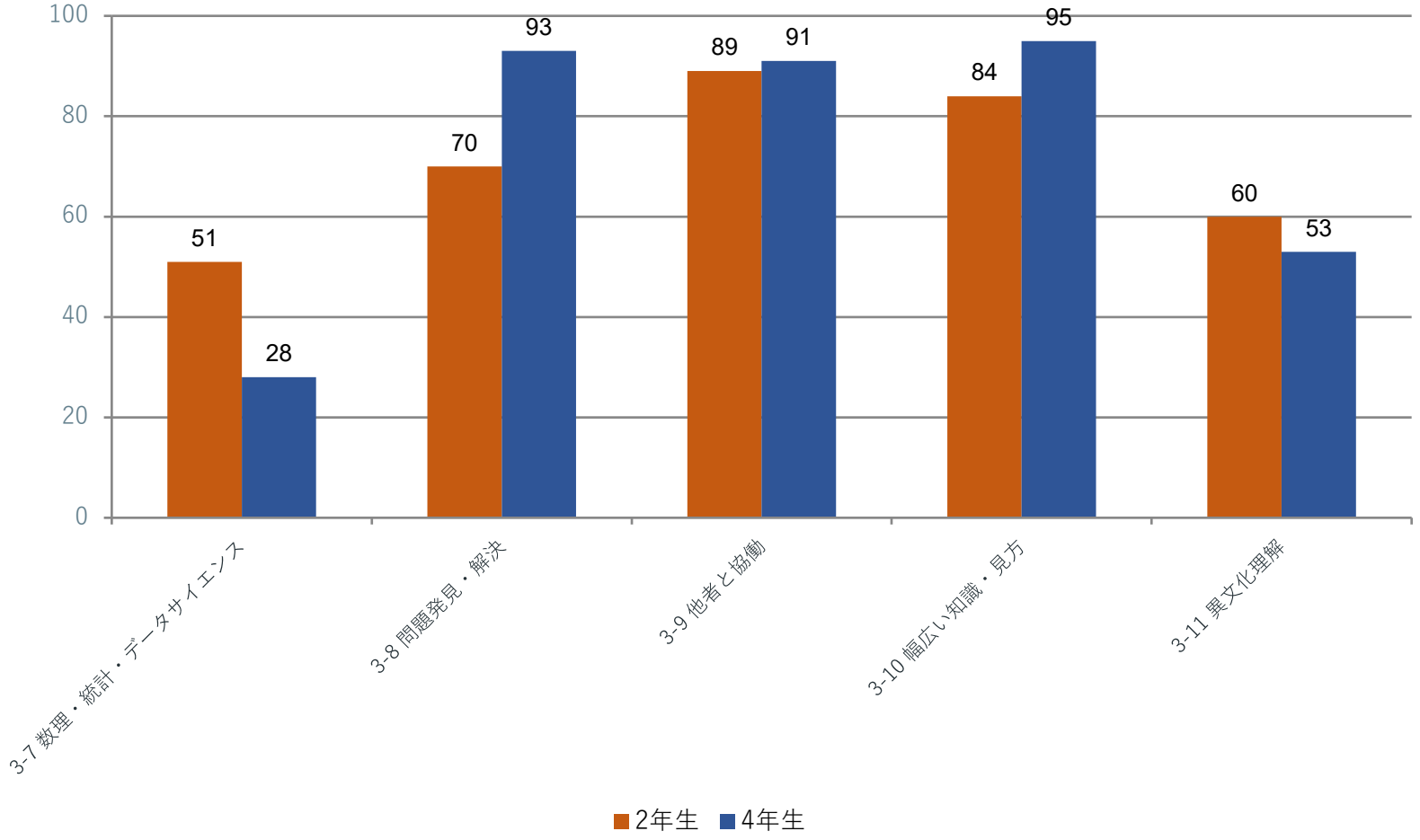


専門分野の知識や、将来の職業につながる知識・態度は高い評価です。

外国語を使う力は、今後の改善課題として整理しています。

理学療法学科｜問3 知識・能力の習得（2）

肯定的回答（ある程度身に付いた＋身に付いた）の割合

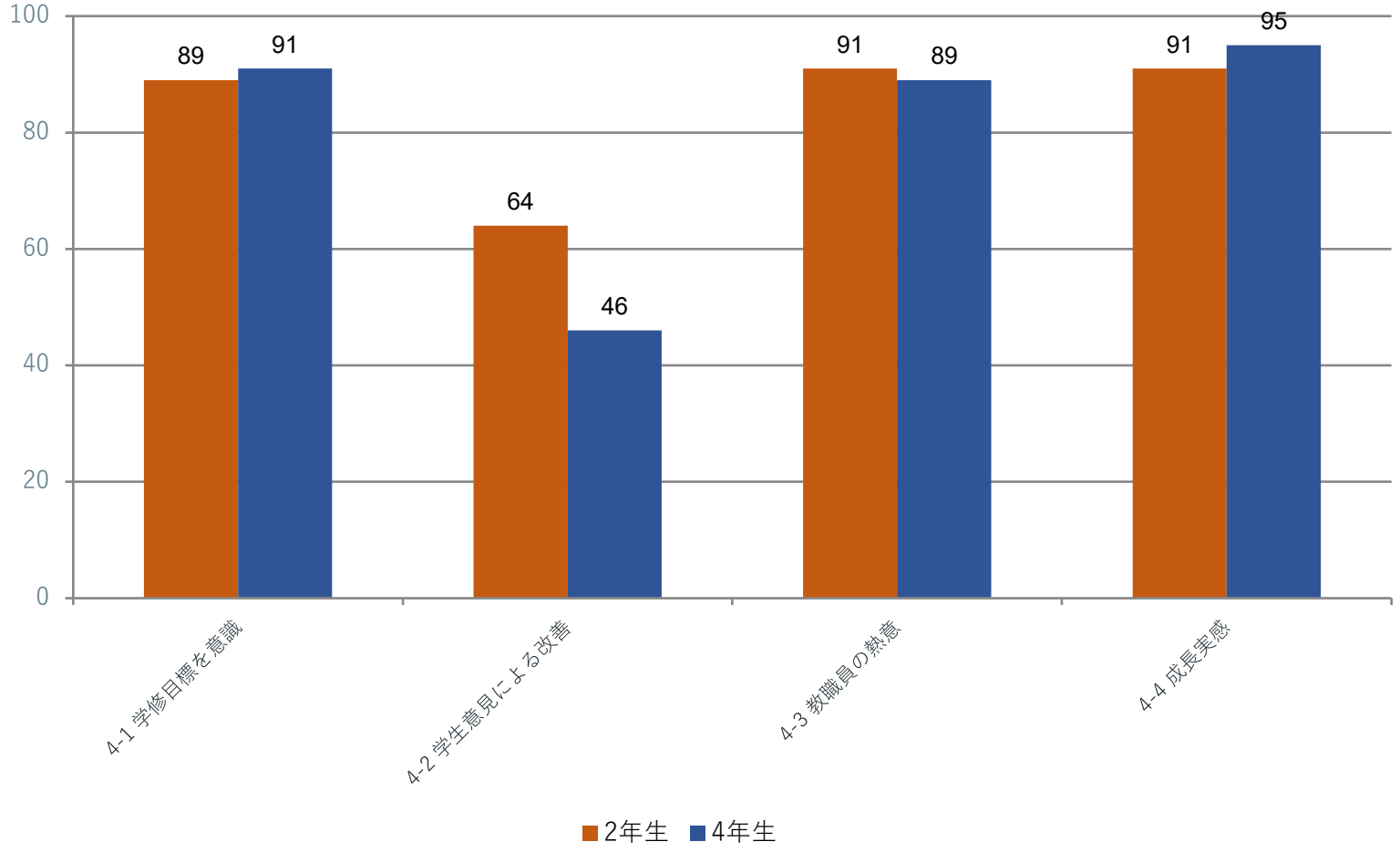


問題発見・解決、他者と協働する力、幅広い知識・ものの見方は高い評価です。

データサイエンス関連能力は、教育改善上の重点項目です。

理学療法学科｜問4 大学での学び全体

肯定的回答（ある程度そう思う＋そう思う）の割合



学修目標の意識、教職員の熱意、成長実感は高い評価です。

学生の意見が教育改善に反映されているという実感は、相対的に低い傾向です。

理学療法学科｜問5 生活時間

各項目で最も回答が多かった時間帯

項目	2年生で最も多い回答	4年生で最も多い回答
5-1 授業への出席	21〜30時間	31時間以上
5-2 卒業研究等	0時間	0時間
5-3 授業に関する学習	1〜5時間	1〜5時間
5-4 自主的な学習	1〜5時間	31時間以上
5-5 部活動・サークル	0時間	0時間
5-6 アルバイト・定職	11〜20時間程度	6〜15時間程度

4年生では、自主的な学習時間が多い層がみられます。

低学年から授業外学習を継続しやすい仕組みづくりが重要です。

理学療法学科｜集計結果からみえる特徴

外部公表用のまとめ

・授業方法や対話的な学びは、学生から概ね肯定的に評価されています。

・専門職として必要な知識・技能・態度の習得について、学年進行に伴う伸長がみられます。

・外国語、数理・統計・データサイエンス、学生意見を踏まえた教育改善の可視化は、今後の重点課題です。

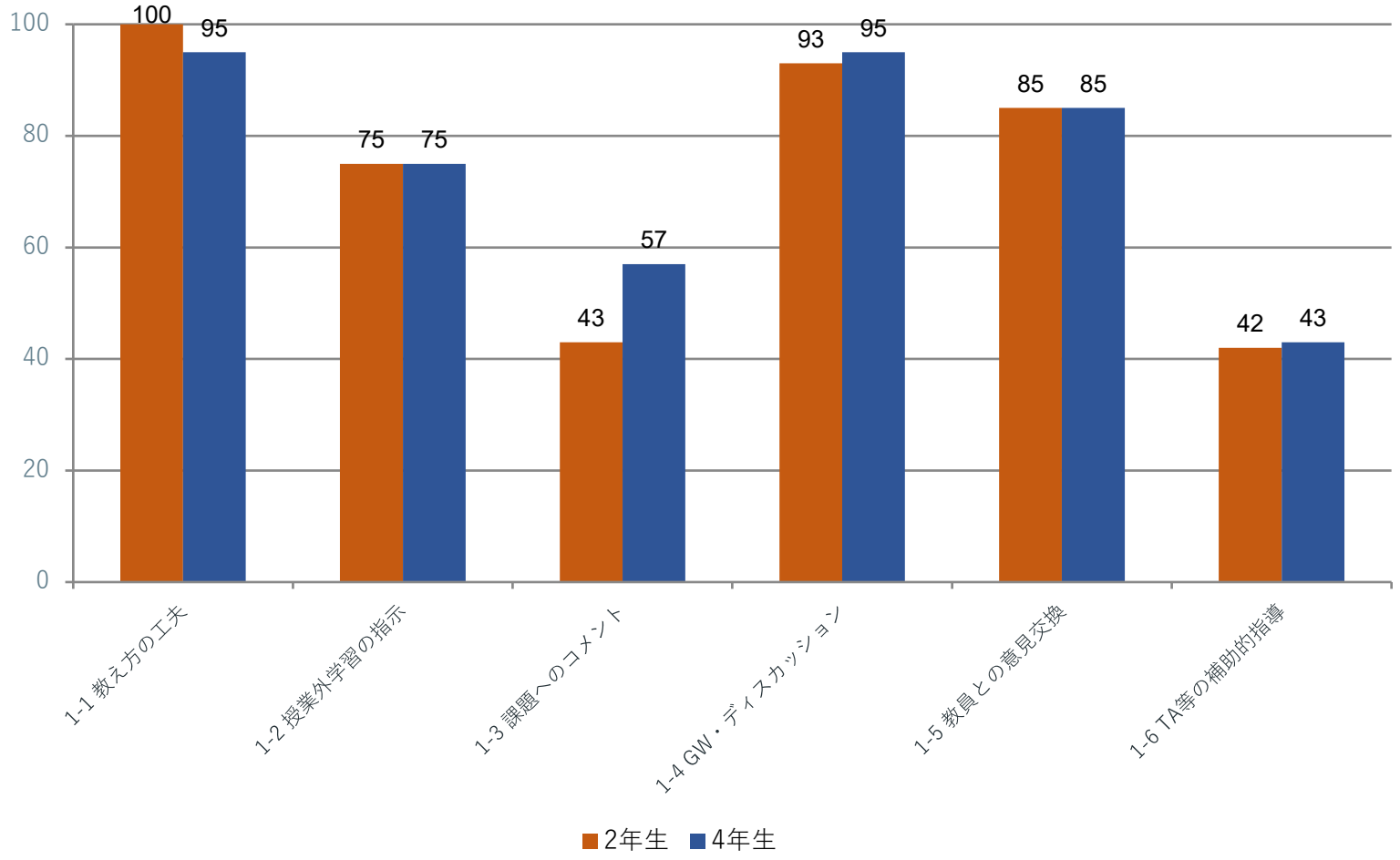
・自由記述回答はなく、個別意見の掲載はありません。

作業療法学科

各設問項目の結果を、学年別に整理して示します。

作業療法学科｜問1 授業に関する経験

肯定的回答（ある程度あった＋よくあった）の割合

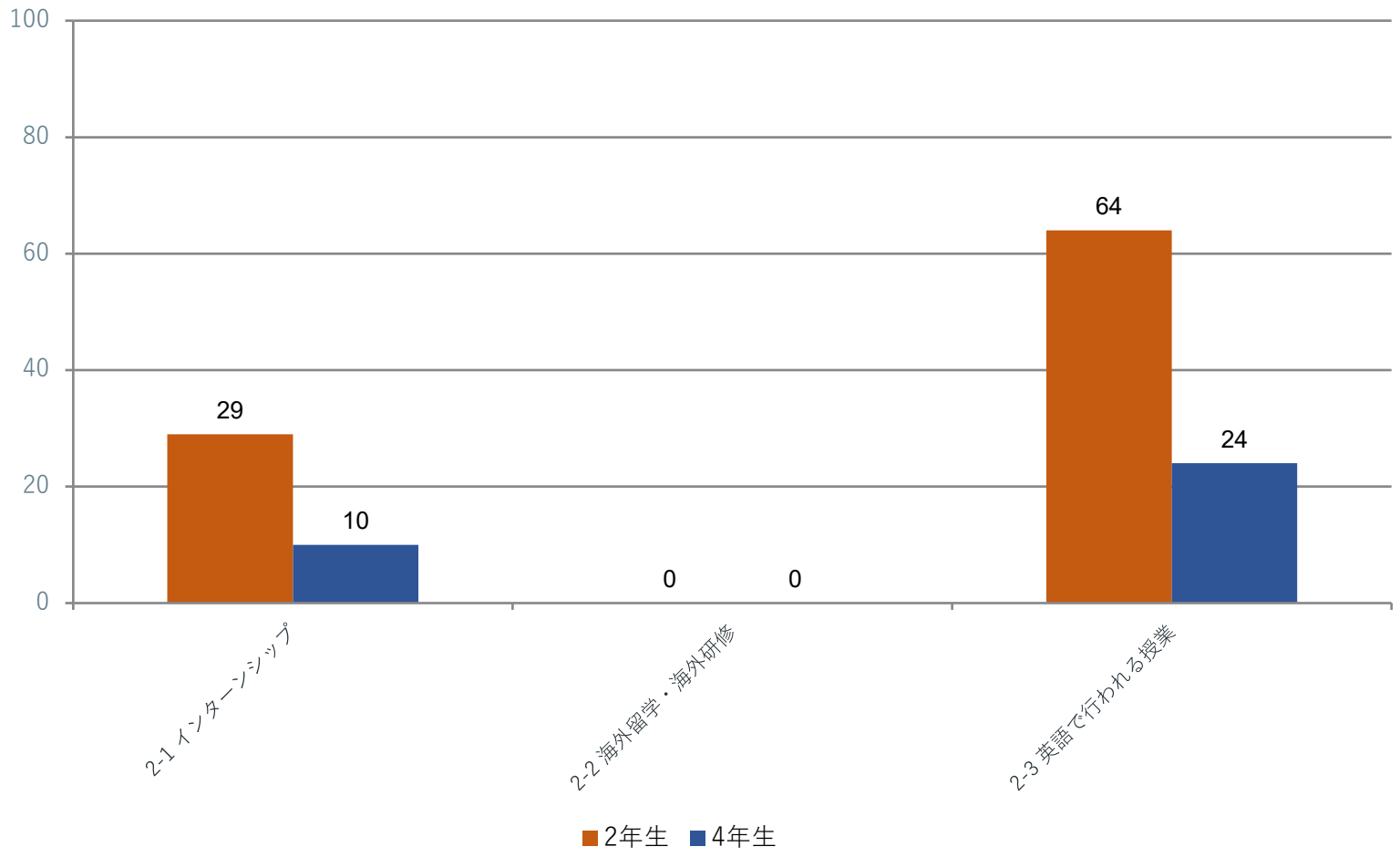


授業のわかりやすさ、対話的学習、教員との意見交換は高い評価です。

課題への具体的フィードバックと補助的支援は、改善の余地があります。

作業療法学科｜問2 大学在学中の経験

経験した割合（経験していない以外）

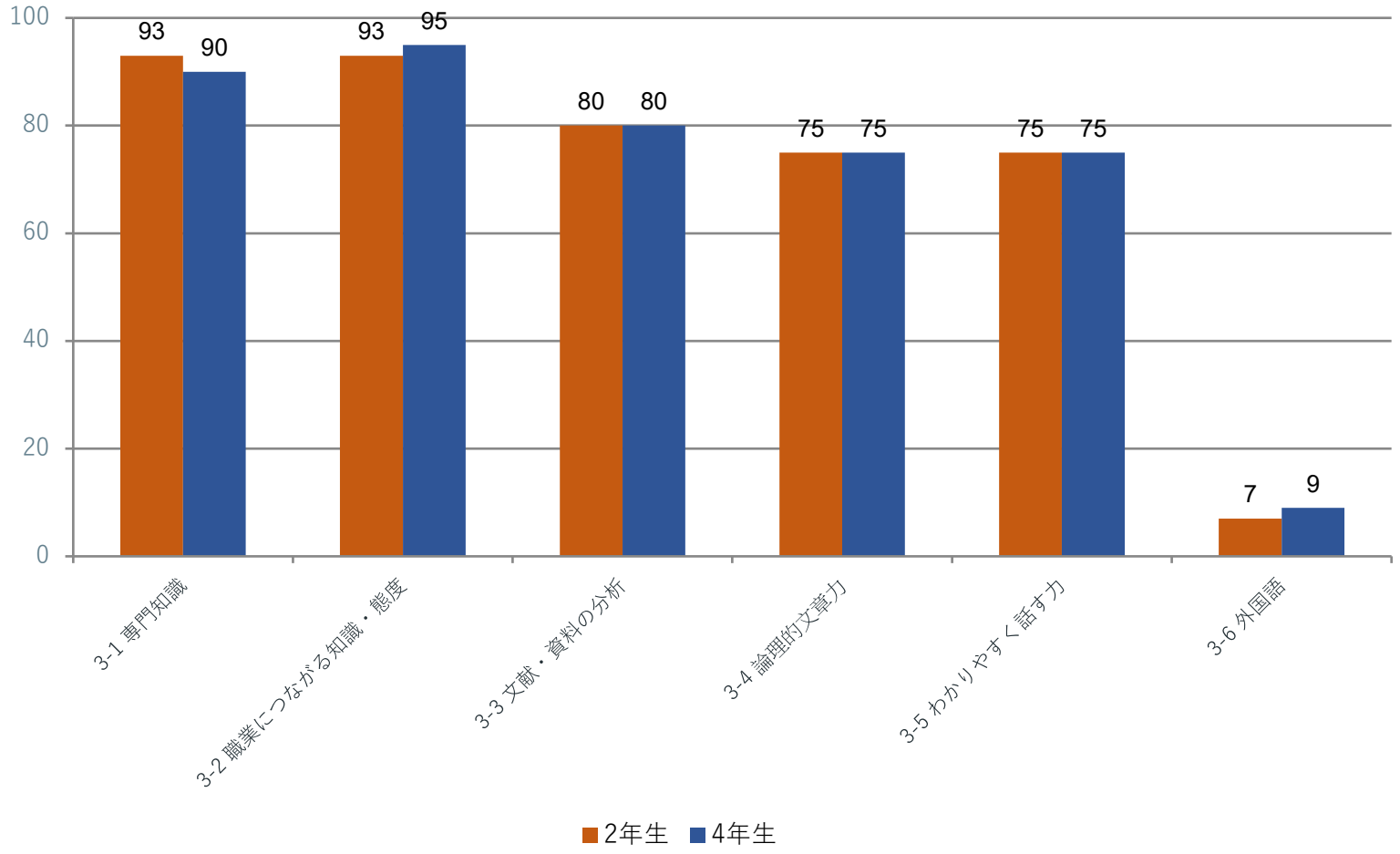


経験型・国際型の学習機会は、参加経験が限定的です。

海外研修に限らず、英語文献の活用やオンライン交流など、段階的な取組が考えられます。

作業療法学科｜問3 知識・能力の習得（1）

肯定的回答（ある程度身に付いた＋身に付いた）の割合

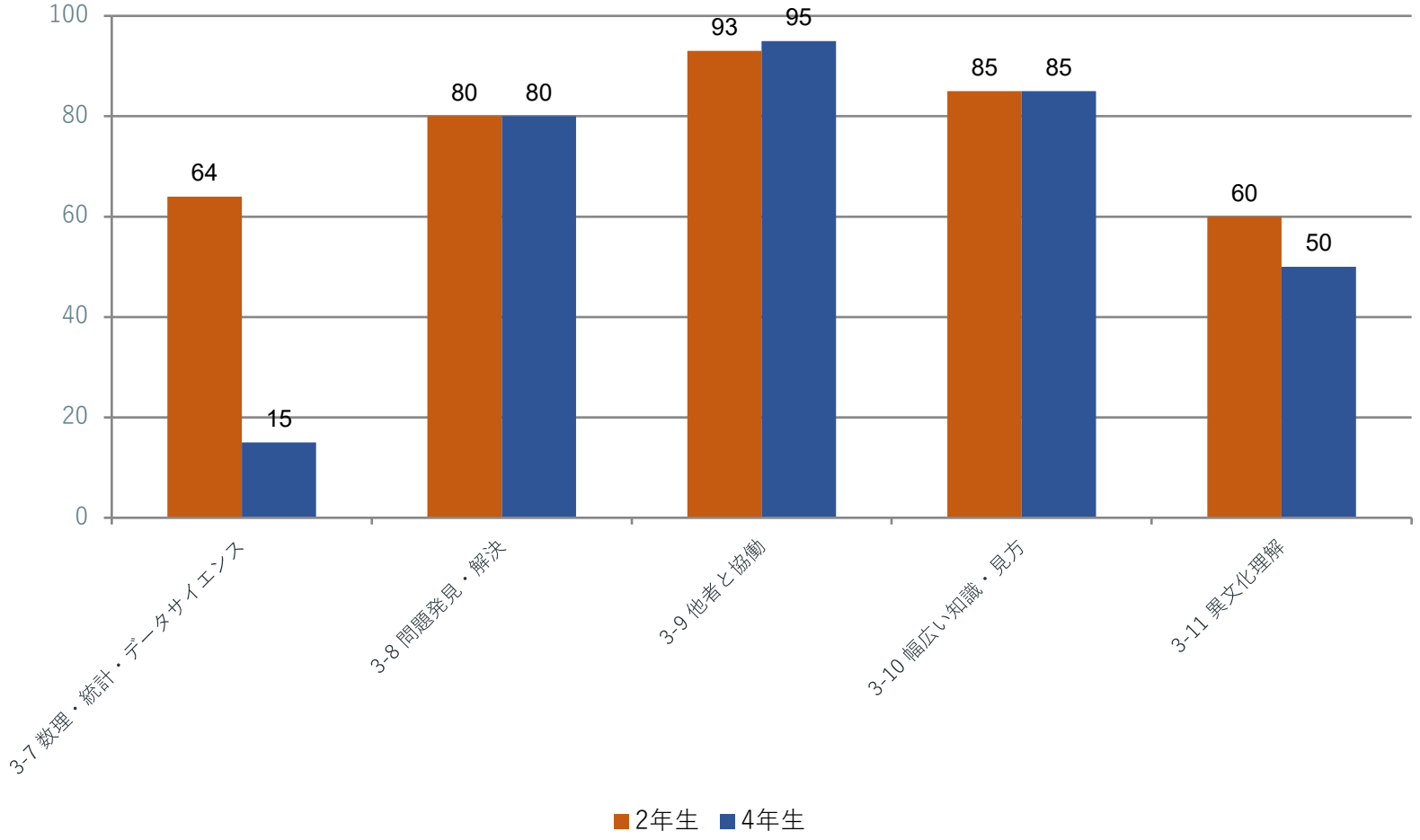


専門分野の知識や、将来の仕事につながる知識・スキル・態度は高く評価されています。

外国語を使う力は、習得実感が低い項目です。

作業療法学科｜問3 知識・能力の習得（2）

肯定的回答（ある程度身に付いた＋身に付いた）の割合

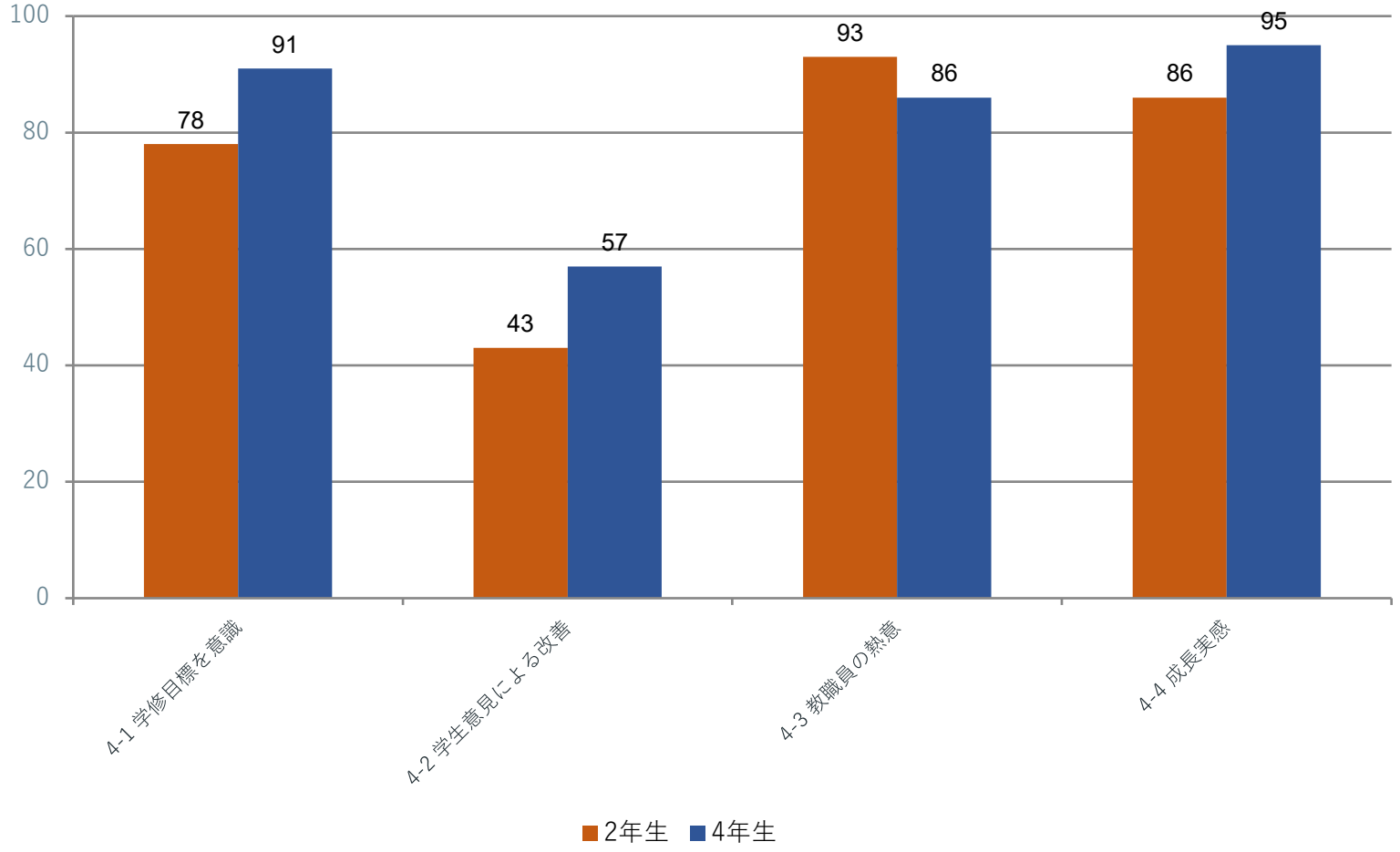


他者と協働する力は、両学年で非常に高い評価です。

数理・統計・データサイエンスは、特に4年生で習得実感が低い傾向がみられます。

作業療法学科｜問4 大学での学び全体

肯定的回答（ある程度そう思う＋そう思う）の割合



学生の成長実感や教職員の教育への熱意は、概ね高く評価されています。

学生の意見を受けた改善内容を見える形で共有することが重要です。

作業療法学科｜問5 生活時間

各項目で最も回答が多かった時間帯

項目	2年生で最も多い回答	4年生で最も多い回答
5-1 授業への出席	11〜15時間	6〜10時間
5-2 卒業研究等	0時間	0時間
5-3 授業に関する学習	1〜5時間	1〜5時間
5-4 自主的な学習	1〜5時間	31時間以上
5-5 部活動・サークル	0時間	0時間
5-6 アルバイト・定職	31時間以上の回答も一定数	0〜15時間に分散

4年生では自主的な学習時間が大きく増加しており、国家試験や卒業後を意識した学修行動への移行がうかがえます。

作業療法学科｜集計結果からみえる特徴

外部公表用のまとめ

・専門知識、将来の仕事につながる学び、他者と協働する力は、学生から概ね肯定的に評価されています。

・課題へのコメント返却、教育改善の可視化、TA等の補助的指導は、改善に向けて整理すべき項目です。

・外国語と数理・統計・データサイエンスについては、専門科目や卒業研究と関連づけた学修機会の工夫が課題です。

・自由記述回答はなく、個別意見の掲載はありません。

公表用まとめ

学科別の特徴を踏まえた今後の取組

理学療法学科・作業療法学科ともに、専門職養成教育としての学修成果や、教職員の教育への取組について肯定的な評価がみられました。

今後は、課題へのフィードバック、学生意見を踏まえた改善内容の共有、外国語・データ活用力の育成、低学年からの自主的学習の促進を、継続的な改善項目として扱います。

※本資料は学科別集計結果を外部公表向けに再構成したものであり、個人が特定され得る情報は掲載していません。